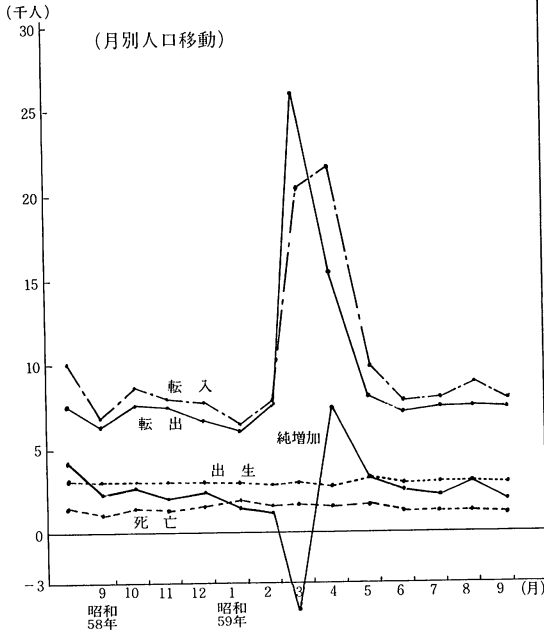


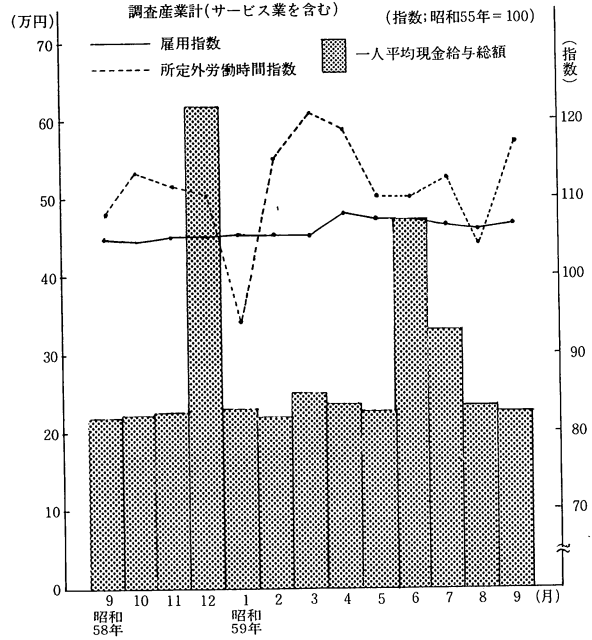
● 今月の主な動き

今月の主な動き

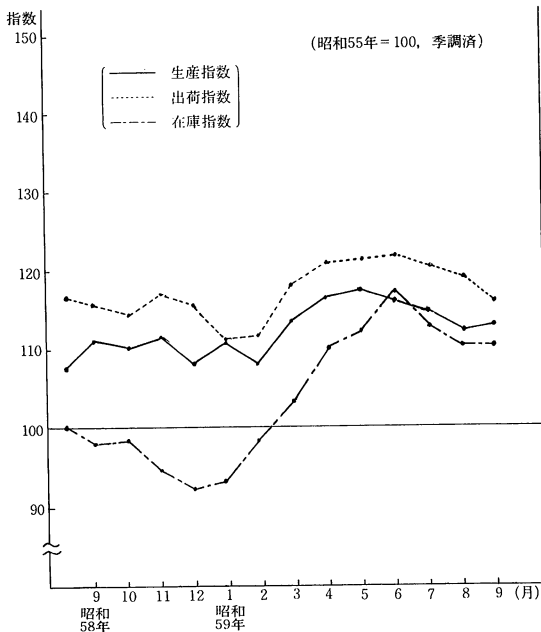
人 口



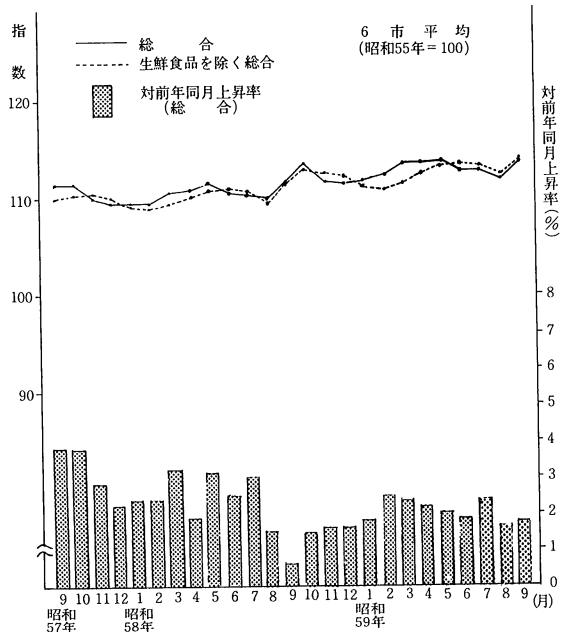
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし 企画部 統計課

■ 人 口 (10月1日)

本県の人口は、9月中に1,986人増加し、10月1日現在で2,690,696人になった。昨年10月1日と比較すると25,457人(0.96%)の増加である。昨年9月中の増加(2,325人増)は、昭和47年(2,132人)に次いで少なかったが、今年はさらに少なく2千人を下回った。

内訳は、自然動態で1,719人(出生2,897人、死亡1,178

人)増加し、社会動態が267人(転入6,945人、転出6,678人)の増加とわずかである。

市町村別では、増加14市54町村、減少4市17町村、増減なし3村である。

世帯数は586世帯増加して、748,952世帯になった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (9月)

1. 平均賃金の推移

9月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む。)1人1ヶ月平均現金給与総額は223,430円で前月に比べ2.9%減(前年同月比4.3%増)であった。

このうちきまって支給する給与は221,011円で前月に比べ2.3%増(前年同月比3.9%増)であり、特別に支払われた給与は2,419円で前年に比べ1,254円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は180.9時間で、前月に比べ9.3%増(前

年同月比0.7%増)であった。

このうち所定内労働時間数は162.7時間で、前月に比べ9.0%増(前年同月比0.1%減)であり、所定外労働時間数は18.2時間で、前月に比べ12.3%増(前年同月比8.3%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.5で、前月に比べ0.3ポイント増、前年同月に比べ1.4ポイント増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (9月)

昭和59年9月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が112.8、出荷が115.7、在庫が110.0で、前月比は、生産が1.1%上昇、出荷が△2.7%、在庫が△0.3%低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が3.1%、出荷が1.7%、在庫が12.8%の上昇であった。

生産を業種別にみると、鉱業、精密機械、輸送機械等が上昇し、石油・石炭製品、非鉄金属等が低下した。

出荷を業種別にみると、鉱業、輸送機械、電気機械等が

上昇し、石油・石炭製品、一般機械等が低下した。

在庫を業種別にみると、鉱業、食料品・たばこ、電気機械等が上昇し、輸送機械、鉄鋼等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、耐久消費財、非耐久消費財等が上昇し、その他用生産財等が低下した。出荷では、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。在庫では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、建設財、資本財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (9月)

昭和59年9月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で114.0(昭和55年=100)となり、前月比(+1.9%、対前年同月比(+1.7%の上昇となった。

今月上旬がった主な項目……衣料(+24.8%、シャツ・下着(+14.1%、野菜・海草(+10.5%、乳卵類(+6.0%

今月下旬がった主な項目……交通(-)0.8%、家庭用耐久財(-)0.5%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	114.0	1.9	1.7	保健医療	108.7	0.0	2.5
食 料	115.1	1.6	2.9	交通通信	109.2	0.7	2.3
住 居	113.5	0.0	1.2	教 育	134.3	0.0	5.3
光熱・水道	109.2	0.3	0.4	教養娯楽	114.2	△0.4	1.9
家具・家事用品	106.6	0.3	2.1	諸 雑 費	113.1	0.5	0.9
被服及び履き物	115.5	15.2	△4.3	生鮮食品を除く総合	114.0	1.6	1.7